

## 雇用訴訟

一般に雇用主と従業員の関係は次のとおりです。

Civil Right Act (1964, 1991)のタイトル VII	人種による区別
Americans with Disabilities Act (ADA)	身体障害による区別
Age Discrimination in Employment Act (ADEA)	年齢による区別
Family and Medical Leave Act (FMLA)	産休・育児休暇
State Laws and Regulations	従業員を守る為の法律
Sexual Orientation Discrimination	性による区別
Sexual Harrasent	セクシャルハラスメント
Retaliation Discrimination	従業員に反して雇用者が出す報復
Breach of Contract	口述または記述による雇用契約違反
Defamation and Invasion of Privacy	中傷、プライバシーの侵害
Wrongful Demotion	不正な降格

## 不法死亡

不法死亡とは、ある人物の不注意や過失などから生じた死亡事故に対して個人の家族又はそれに値する人が責任を求める訴訟であり、勝訴した場合、被害に値する賠償金を受けることができます。

## 重傷

重傷による訴訟は、ある人物の不注意や過失、その他様々な原因によりある人が負傷した場合、その責任を求める事をいいます。事故による腕・足などの損傷、麻痺、やけど、頭部の怪我、毒素などによる負傷などはその例です。

## 交通事故

毎年多発する交通事故により、負傷、または自動車や他の所有物に損害を受ける人々が絶えません。大事故でない場合でも、警察または DMV へ書類の提出、保険会社への報告や手続き、のみならず、事故後の生活への支障とそれに伴う出費もかさみます。しかしほとんどの場合、莫大な金額の出費や大きな犠牲と苦痛を伴うことも少なくありません。

人身事故になった場合、医療費、通院、リハビリなどが必要になりその費用が発生します。そして収入源の喪失もしくは負傷のための休暇、または治療・回復のための場所も必要になる場合があります。このような出費に加え、自動車や他の所有物に損害を受ける場合もあり、修理・レンタカー費用などもかかることとなります。このような状況下で、短期間、または長期にわたり、通常の生活をする事は困難となり、様々な苦痛に耐えなければならないかもしれません。

法的救済を求める事で、事故により失った生活を取り戻し、回復する道を探すことができます。法的救済を求める主要概念は損害賠償金の獲得し事故前と出来る限り同じ状態を取り戻すことです。損害賠償

金に加え、被害が相手の無謀、または無責任な行動による場合、または事故や負傷の原因が車のコンディション(不良品、欠陥製品)によるものだった場合、相手または製造元の企業から懲罰的損害賠償金を得る事が出来る場合もあります。

## **詐欺**

詐欺とは普通、金銭などを目当てとし、故意に人を誘導し、虚偽の陳述をすることを言います。しかしその虚偽の陳述が故意でなく過失であっても同じです。詐欺は普通、金銭、土地、家、車その他何らかの価値のあるものを得るために行われます。時には非倫理的な雇用者が新しい従業員を雇うために行ったり、職場環境、給与、移民手当、業務内容についての虚偽の陳述を作成するために行われたりします。

訴訟の大多数は裁判になる前に解決されますが、弁護士、依頼人は共に、調停、仲裁による解決または裁判のため、随時心の準備をしていなければいけません。